

AICネットワーク # 129

CADSUPER 2021年度版

新コマンド・・・ p.1

グループ形状管理コマンド
連続部分保存コマンド
螺旋コマンド
サイン曲線コマンド
統合レイヤ編集コマンド
指定要素レイヤ書込コマンド
多角形2コマンド
楕円→円弧コマンド
ルーラー作成コマンド
表展開コマンド

機能強化・・・ p.7

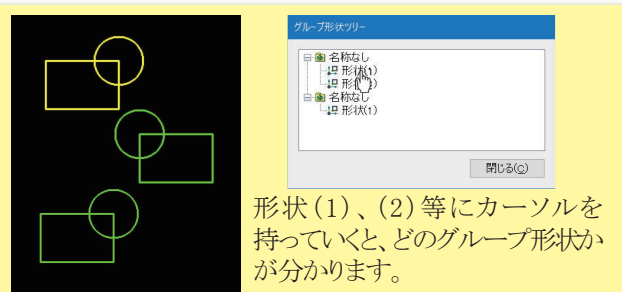
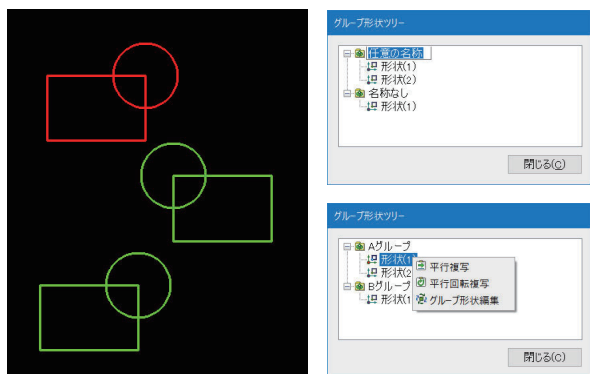
設定ダイアログの変更
統合編集コマンド
開く(白黒反転)コマンド
イメージプレビューの別ウインドウ表示
コンソールパネル(確定⇒ロック)
拡大(複写/移動)コマンド
補助線コマンド
連動詳細図のレイヤ設定
平行(複写/移動)コマンド
レイヤ状態設定コマンド
ファイル検索コマンド
自動サーチループ
面取りコマンド
CADSUPER2021の対応OS

*記載されている会社名、製品名は、各社の商標および登録商標です。

新コマンド

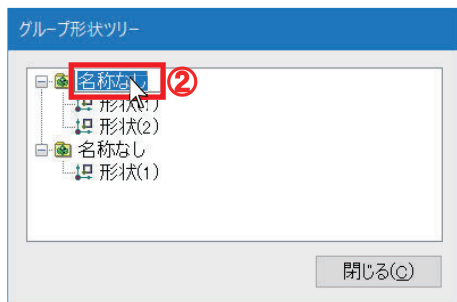
■「編集」－「グループ形状」－「ツリー」コマンド

図面に配置されているグループ形状をツリー管理できる機能を搭載しました。グループ形状の名称変更、連動機能を維持した図面への複写、形状の編集などを行うことができます。

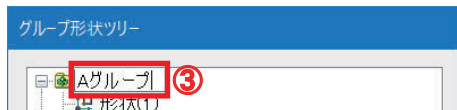


＜グループ形状名称の付け方＞

- ①「編集」－「グループ形状」－「ツリー」を実行します。
- ②「名称なし」の部分をやっくり2回クリックします。



- ③グループ形状の名前を変更します。(例:Aグループ)

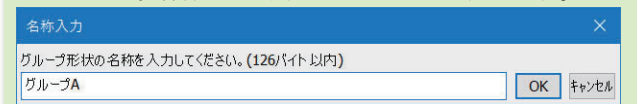


ポイント！

「設定」－「ユーザープロパティ設定」の「編集」－「その他」よりグループ形状作成時に名称を入力することもできます。

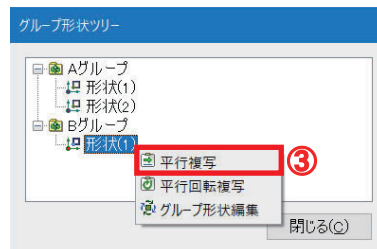
グループ形状
☒ 作成時、名称を入力する(I)

グループ形状作成時に下記のダイアログが開きます。



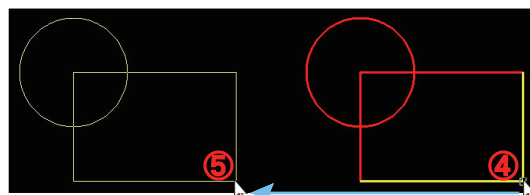
＜グループ形状複写方法＞

- ①「編集」－「グループ形状」－「ツリー」を実行します。
- ②複写するグループ形状上で右クリックします。
- ③今回は「平行複写」をクリックします。



- ④基準点を指定します。

- ⑤配置点を指定します。

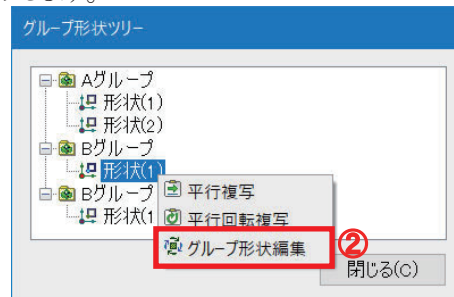


注意！

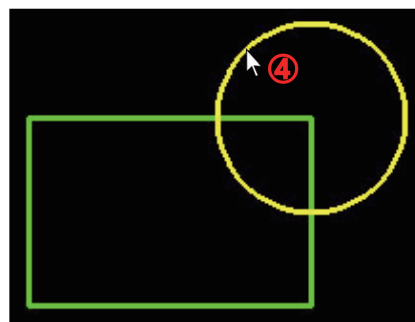
「編集」－「複写」の「平行」/「平行回転」から複写した場合は、グループ形状が集合要素に変わります。

＜グループ形状編集方法＞

- ①「編集」－「グループ形状」－「ツリー」を実行します。
- ②編集する形状上で右クリックし、「グループ形状編集」をクリックします。



- ③(今回はハッチングを行います)
「作図」－「ラインハッチング」を実行します。
- ④周要素を指定します。

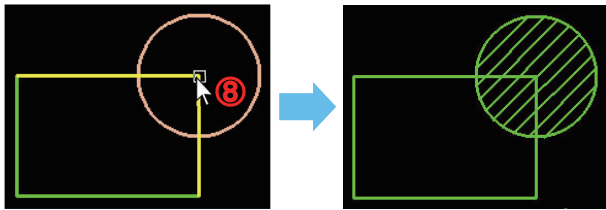


- ⑤「確定(Enter)」をクリックします。
- ⑥「次の周要素を指定しますか?」と表示されたら、マウス左クリックし、「いいえ」を選択します。

次の周要素を指定しますか? (はい(Y)/いいえ(N))

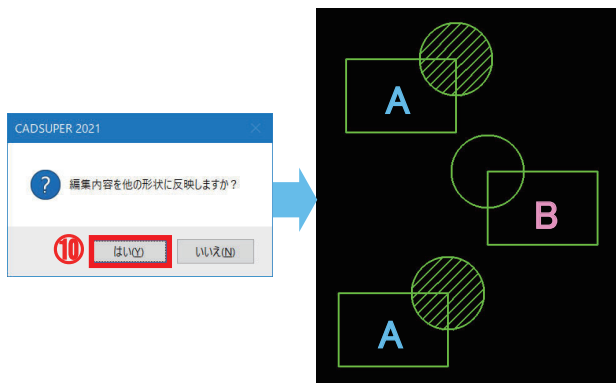
⑦ハッチングの間隔と角度を入力します。
(今回は間隔:2、角度:45°)

⑧基準点を指定します。



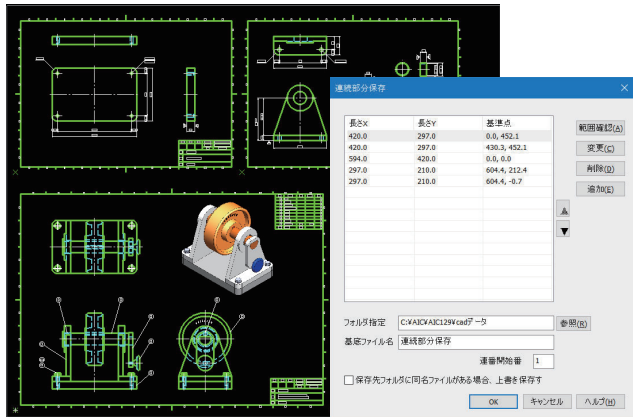
⑨「編集」-「グループ形状」-「編集」を実行します。

⑩編集内容を同じグループ形状に反映する場合は「はい」をクリックします。



■「ファイル」-「連続部品保存」コマンド

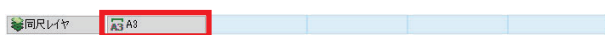
用紙サイズを指定しながら連続で部分保存する機能を搭載しました。範囲指定後、それぞれの範囲確認や、範囲の変更・追加を行うことができます。また、1ファイルに複数図面がある場合、図面ごとに別々のファイルに保存することも可能です。



(操作方法)

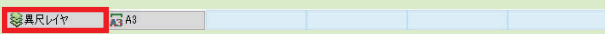
①「ファイル」-「連続部分保存」を実行します。

②コマンドモード2より用紙サイズを指定します。
(今回は、用紙サイズ:A3)

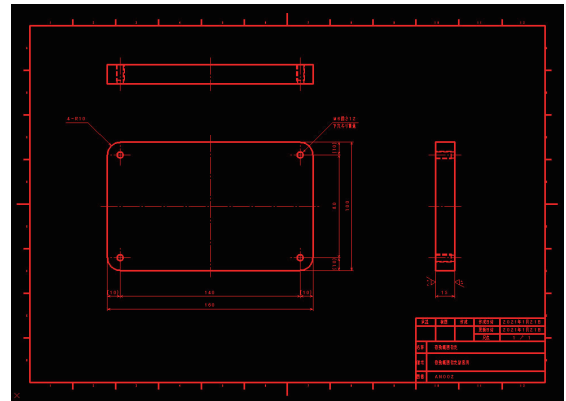


ポイント!

コマンドモード1を「異尺レイヤ」に切替えると、縮尺の違うレイヤもその縮尺のまま部分保存を行うことができます。

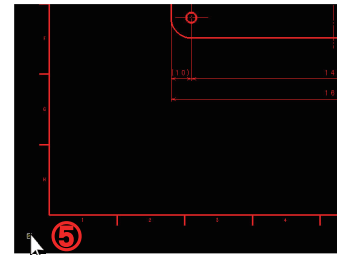


③部分保存したい要素を選択します。



④「確定(Enter)」をクリックします。

⑤基準点を指定します。

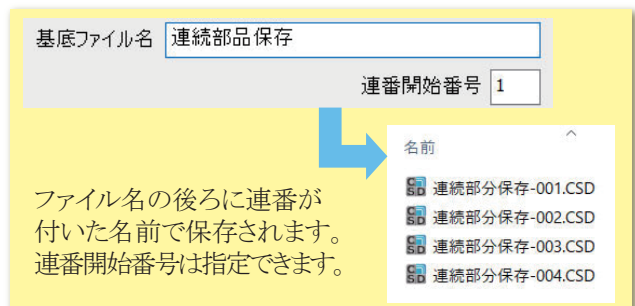
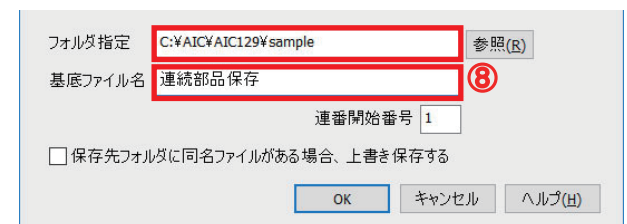


⑥コマンドモード2で用紙サイズを指定しながら他の部分保存をしたい箇所を選択します(③~⑤)。

⑦選択が終了後、「確定(Enter)」をクリックします。



⑧保存するフォルダとファイル名を指定します。



⑨「OK」をクリックします。



■「作図」－「曲線」－「螺旋」コマンド

巻き数や間隔などのパラメータ値を指定するだけで、簡単にアルキメデス螺旋や対数螺旋を描画できるコマンドを搭載しました。



アルキメデス螺旋



対数螺旋

(アルキメデス螺旋作図方法)

- ①「作図」－「曲線」－「螺旋」を実行します。
- ②コマンドモード1を「アルキメデス」に切り替えます。

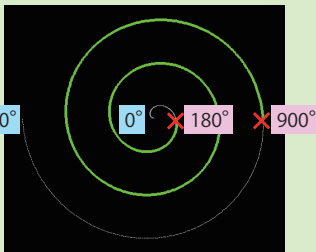
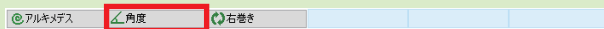


- ③配置点を指定します。
- ④巻き数を入力します。(例) 巻き数:3



ポイント！

コマンドモード2が「角度」の場合は開始角度と終了角度を指定することができます。(例)開始角度:180°、終了角度:900°



- ⑤巻き間隔を入力します。(例) 巻き間隔:1

巻き間隔



巻き間隔「1」で、0°～360°の長さが 2π となります。

- ⑥分割間隔を入力します。(例) 分割間隔:1

ポイント！

分割間隔の数字(角度)毎の線分として描画するので、間隔を小さくすると曲線が滑らかに描画されます。

分割間隔:1

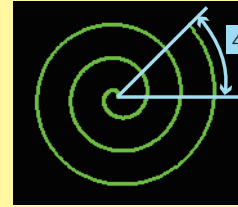
分割間隔:30



30° 間隔を線分で結びます。

「傾き」は螺旋形状の回転角度です。

(例) 傾き:45°



(対数螺旋作図方法)

- ①「作図」－「曲線」－「螺旋」を実行します。
- ②コマンドモード1を「対数」に切り替えます。



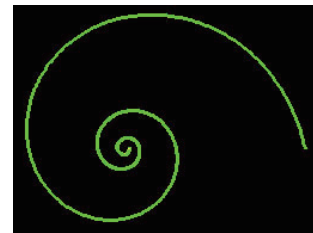
- ③配置点を指定します。
- ④巻き数と巻き間隔を入力します。
(例) 巻き数:3、巻き間隔:1
- ⑤広がり間隔を入力します。(例) 広がり間隔:0.2

対数螺旋は $r=ae^{b\theta}$ となっており、 a が巻き間隔、 b が広がり間隔、 e は自然対数です。 b は変数で、数値を大きくすると広がっていく間隔が大きくなります。

注意！

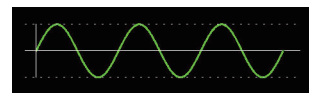
広がり間隔は、0超え1以下の数字です。

- ⑥分割間隔を入力します。(例) 分割間隔:1

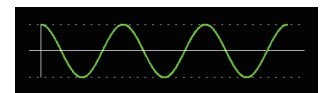


■「作図」－「曲線」－「サイン曲線」コマンド

回転数や波長などのパラメータ値を指定するだけで、サイン曲線・コサイン曲線を描画できる機能を搭載しました。



サイン曲線



コサイン曲線

(操作方法)

- ①「作図」－「曲線」－「サイン曲線」を実行します。
- ②コマンドモード2を「回転数」に切り替えます。

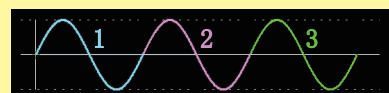


- ③配置点を指定します。



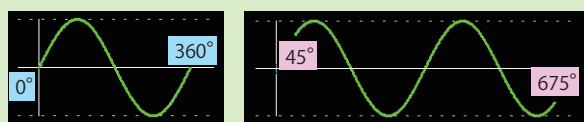
- ④回転数を入力します。(例) 回転数:3

ひと波で1回転となります。



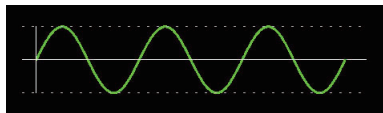
ポイント！

コマンドモード2が「角度」の場合は開始角度と終了角度を指定することができます。(例)開始角度:45°、終了角度:675°



⑤振幅、波長、分割間隔を入力します。

(例)振幅:10、波長:5、分割間隔:1

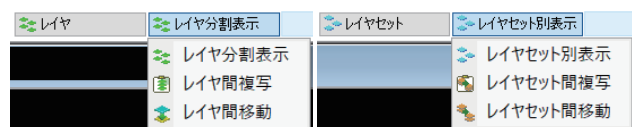


振幅は入力した値がそのままの距離となります

波長1で、0°～360°の長さが2πとなります

■「編集」－「統合レイヤ編集」コマンド

レイヤ分割表示状態で実行するコマンドを1つのコマンドで利用できる機能を搭載しました。実行する動作はコマンドモードで指定することができます。



「統合レイヤ編集」コマンドでは、下記の操作が可能です。

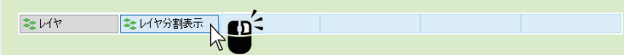
- ・レイヤ状態の変更
- ・レイヤ/レイヤセット間複写
- ・レイヤ/レイヤセット間移動
- ・レイヤ/レイヤセット削除

(操作方法)

- ①「編集」－「統合レイヤ編集」を実行します。
- ②コマンドモード2を「レイヤ間複写」に切り替えます。

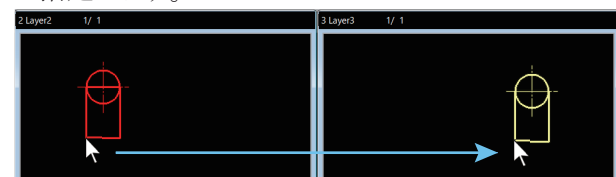
ポイント！

コマンドモード2を「レイヤ間移動」に切り替えたい場合は、右クリックで、一発で切り替わります。



レイヤセット複写/移動の際は、コマンドモード1を「レイヤセット」に切り替えます。

- ③複写する要素を選択し、基準点、配置点を順番に指定します。



再度レイヤ分割表示に戻る際は、「ESCキー」をクリックし、コマンドを終了すると戻ります。

(レイヤ削除方法)

- ①「編集」－「統合レイヤ編集」を実行します。
- ②コマンドモード1を「レイヤ」に切り替えます。



注意点！

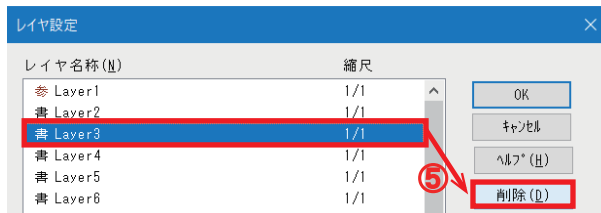
レイヤを削除する場合は、必ずコマンドモード2を「レイヤ分割表示」にして下さい。

- ③レイヤ上で左クリックします。

- ④「レイヤモードを変更しますか？」と表示されたら、マウス左クリックし、「はい」を選択します。

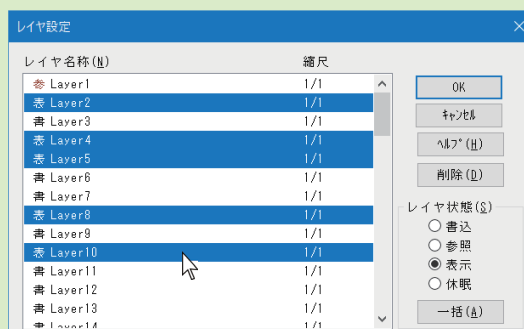
レイヤモードを変更しますか？ (はい(Y)/いいえ(N))

- ⑤削除するレイヤを選択し、「削除」をクリックします。



ポイント！

CADSUPER2021よりCtrlキーを押さずに複数のレイヤを選択し、レイヤ状態変更ができるようになりました。



(レイヤセット削除方法)

- ①「編集」－「統合レイヤ編集」を実行します。
- ②コマンドモード1を「レイヤセット」に切り替えます。

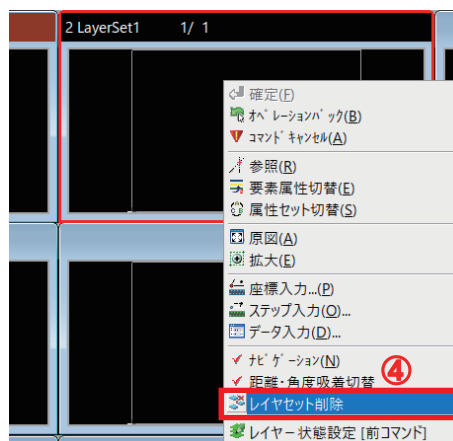


注意点！

レイヤセットを削除する場合は、必ずコマンドモード2を「レイヤセット別表示」にして下さい。

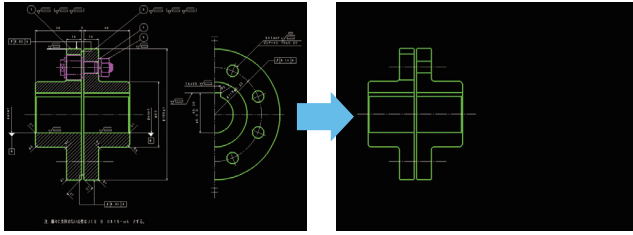
- ③削除するレイヤセットを選択します。

- ④右クリックの「レイヤセット削除」をクリックします。



■「表示」－「レイヤ」 －「指定要素レイヤ書込」コマンド

選択した要素のレイヤのみを書込化し、他のレイヤは、休眠化するコマンドを搭載しました。



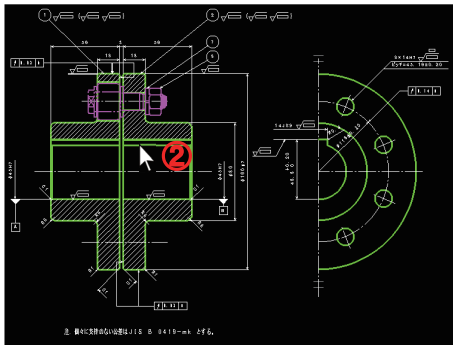
CADSUPER2020までは、

- ①「表示」－「レイヤ」－「全書込み化」
- ②「表示」－「レイヤ」－「指定要素以外のレイヤ休眠化」
- ③要素選択
- ④確定
- ⑤アクティブレイヤ要素指定

で実現できていた動作を1コマンドに集約しました。

(操作方法)

- ①「表示」－「レイヤ」－「指定要素レイヤ書込」を実行します。
- ②要素を選択します。

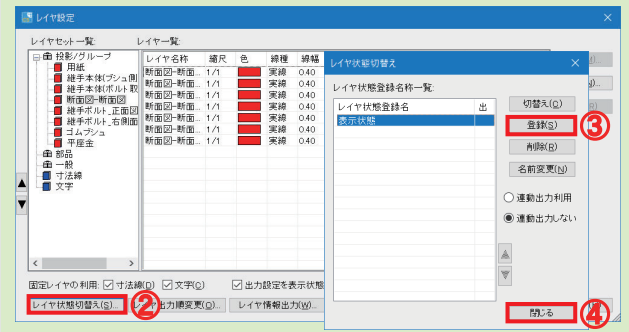


ポイント！

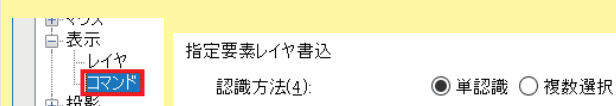
事前にレイヤ状態を登録しておく、元のレイヤ状態に戻すことができます。

(レイヤ状態登録方法)

- ①「設定」－「レイヤ状態設定」を実行します。
 - ②「レイヤ状態切替え」をクリックします。
 - ③「登録」をクリックし、登録名を指定します。
 - ④「閉じる」⇒「OK」をクリックします。
- 操作パネル1の「状態切替」タブに登録されます。

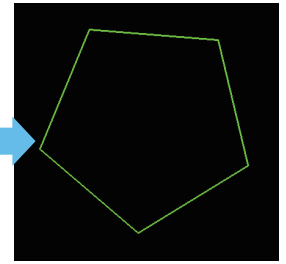


ユーザープロパティ設定より認識方法を選択できます。
「設定」－「ユーザープロパティ設定」－「表示」－「コマンド」内



■「作図」－「多角形2」コマンド

1辺の長ささと頂点数を指定し、正多角形を作図できる機能を搭載しました。



(操作方法)

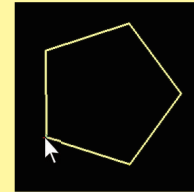
- ①「作図」－「多角形2」を実行します。
- ②頂点数を入力します。



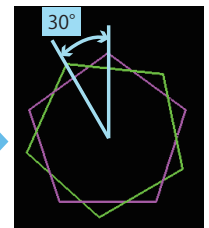
- ③辺の始点を指定します。
- ④1辺の長さを入力します。



1辺の長さはクリックによる位置配置でも可能です。

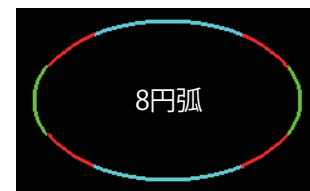


- ⑤基準角度を入力します。



■「編集」－「分解」－「楕円→円弧」コマンド

楕円を4つまたは、8つの円弧で近似する機能を搭載しました。「曲線→円弧」コマンドで円弧近似は可能ですが、より少ない円弧近似が可能です。

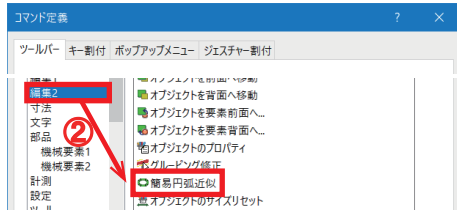


注意点！

「楕円→円弧」コマンドはアイコンからのみの起動です。

(使用方法)

- ①「設定」－「コマンド定義」を実行します。
- ②種類:編集2の「簡易円弧近似」アイコンをツールバーあるいは、操作パネル2にドラック&ドロップします。



ポイント！

CADSUPER2021より、「コマンド定義」の「コマンド名称フィルタ」に「簡易」と入力し、検索すると簡単にコマンドを見つけることができます。

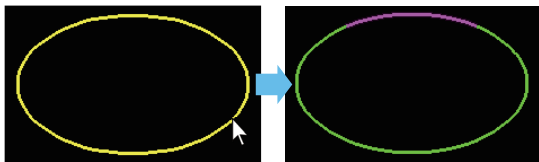
コマンド名称フィルタ:

(操作方法)

- ①「簡易円弧近似」コマンドを実行します。
(先程出したアイコンをクリックします。)
- ②コマンドモード1で4円弧か8円弧を選択します。



- ③楕円要素を選択します。

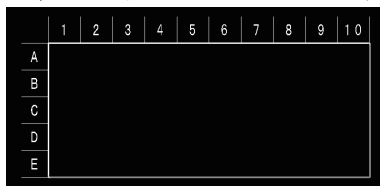


注意点！

楕円の扁平率が高いと近似精度が下がります(形が少し変形します)。

■「ツール」－「ルーラー作成」コマンド

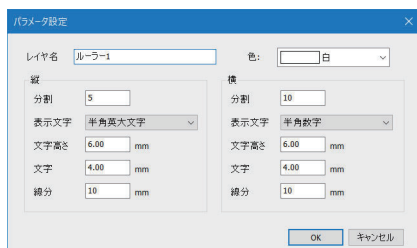
指定された枠と範囲にルーラーを作図するコマンドを搭載しました。組図などの大きめの図面だと番地を探しにくいですが、簡易的なルーラーを図面内に作成すると簡単に番地をみつけることができます。



事前にルーラーを作成する外枠を描いておくと操作が行いやすいです。

(操作方法)

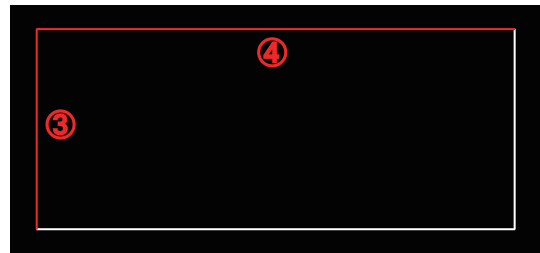
- ①「ツール」－「ルーラー作成」を実行します。
- ②ルーラーの設定で分割数や文字を設定します。



ポイント！

コマンド実行後、「スペースキー」をクリックすると、ルーラーの設定画面が表示されます。

- ③縦の要素(線分)を選択します。
- ④横の要素(線分)を選択します。



- ⑤ルーラーの範囲指定のため、対角点1を指定します。
- ⑥対角点2を指定します。



ルーラーを作成すると、自動でレイヤが追加されます。

■「ツール」－「表」－「展開」コマンド

指定された表オブジェクトをマルチテキストと線に展開する機能を搭載しました。

番号	部品名
1	ノブ
2	プッシュ
3	ブラケット

注意点！

表オブジェクトの文字は中国語などユニコード文字が使用されている場合がありますので、文字要素と線に展開することはいけません。

(操作方法)

- ①「ツール」－「表」－「展開」を実行します。
- ②表オブジェクトを選択します。

番号	部品名	呼び	サイズ	個数
1	ノブ			1
2	プッシュ			2
3	ブラケット			2
4	ベースプレート			1

「計測」－「要素」で表内の文字を選択した場合、下記のダイアログが表示されます。

表展開前

プロパティ表	
基準点	: X= 477.8 Y= 404.1
総種名称	: 宇宙

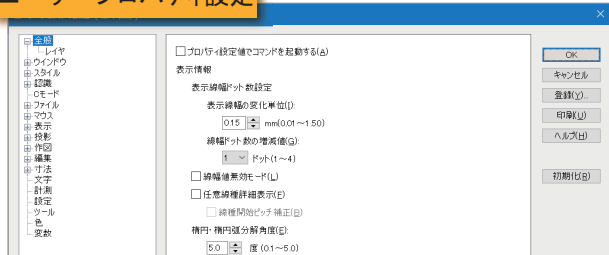
表展開後

プロパティマルチテキスト	
基準点	: X= 532.6 Y= 398.6
総種名称	: 宇宙

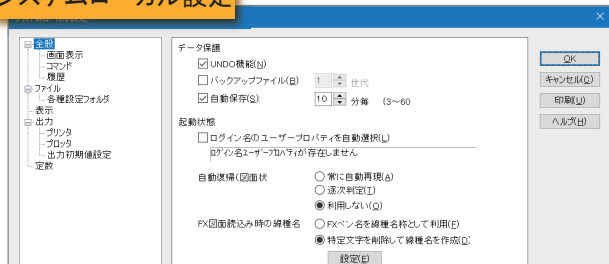
■設定ダイアログの変更

ユーザープロパティ設定及び、システムローカル設定のダイアログが変わりました。

ユーザープロパティ設定

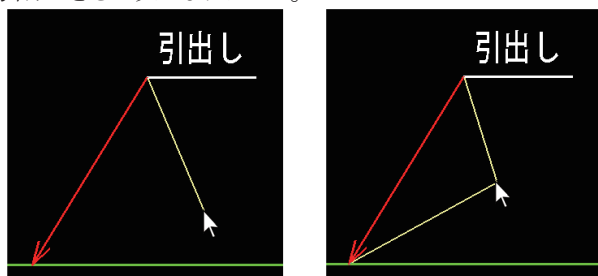


システムローカル設定



■「寸法」-「統合編集」コマンド

仕上げ、幾何公差、溶接、部品エッジ、テーパー、勾配、引出し寸法線の先端部分を移動できるようになりました。また、溶接、部品エッジ、引出し寸法線の引出し線を分割できるようになりました。



ポイント！

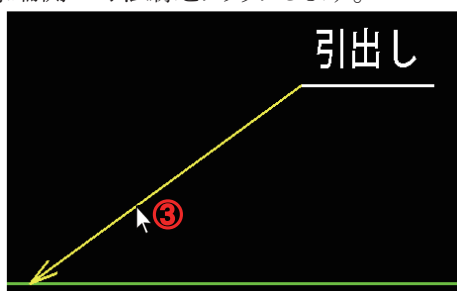
カーソルで選択する位置により、編集の仕方が変わります。

(操作方法)

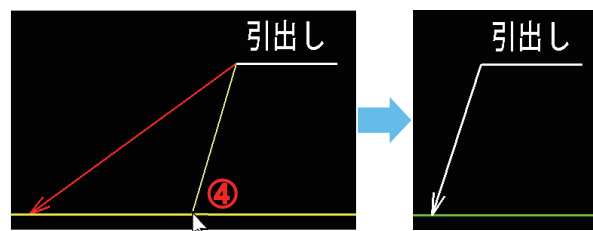
- ①「寸法」-「統合編集」を実行します。
- ②編集を行う引出し線を選択します。

<引出し線先端移動>

- ③矢印線端側の寸法線をクリックします。

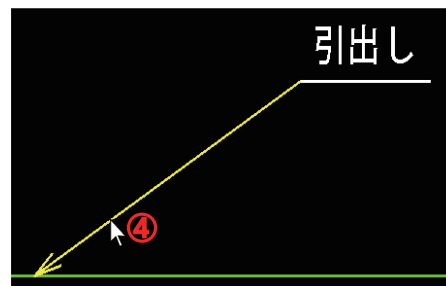


- ④配置点を指定します。

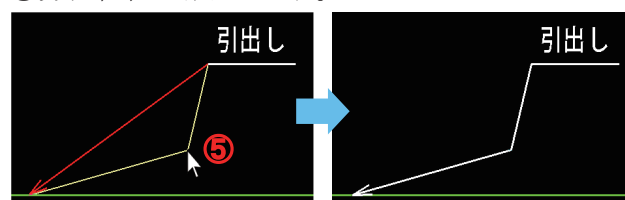


<引出し線分割方法>

- ③「確定(Enter)」をクリックします。
- ④矢印線端側の寸法線をクリックします。

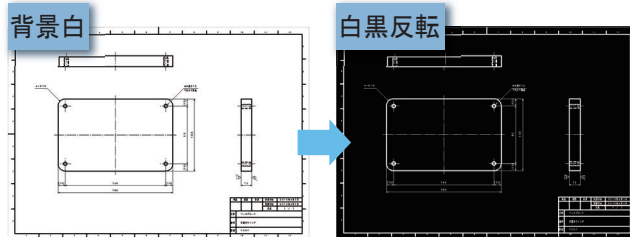


- ⑤分割位置を指定します。



■「ファイル」-「開く」コマンド

背景色が白黒異なる図面を開く場合に要素色を反転して開くモードを搭載しました。



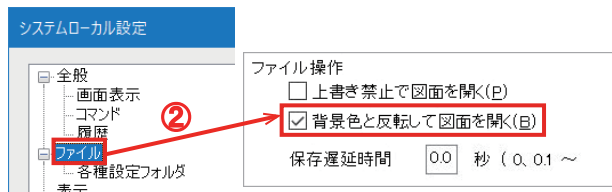
注意！

反転対象は「白」「黒」の2色のみです。「緑」を「白」に変更等はできません。

(設定方法)

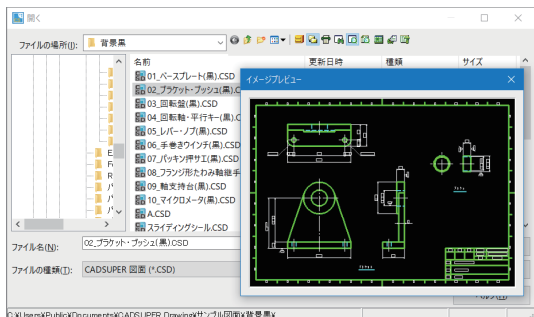
※図面を閉じた状態でのみ設定が可能です。

- ①「ファイル」-「システムローカル設定」を実行します。
- ②「ファイル」の「背景色と反転して図面を開く」にチェックを入れます。
- ③「OK」をクリックします。



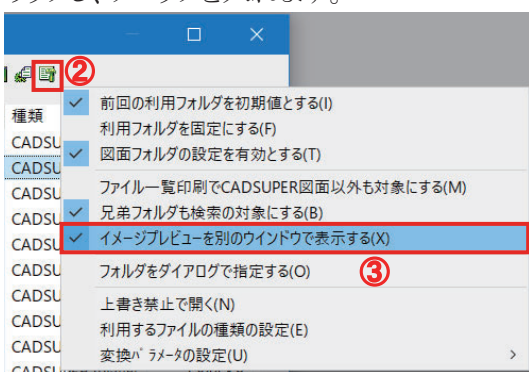
■イメージプレビューの別ウインドウ表示

ファイルのイメージプレビューを別ダイアログで表示するモードを搭載しました。



(操作方法)

- ①「ファイル」－「開く」を実行します。
- ②「設定」アイコンをクリックします。
- ③「イメージプレビューを別のウインドウで表示する」をクリックし、チェックを入れます。



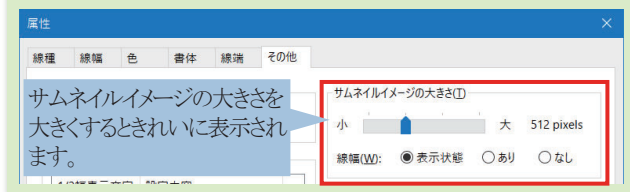
- ④「プレビュー」アイコンをクリックします。



ポイント！

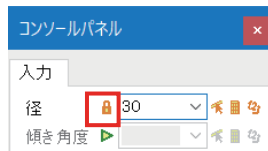
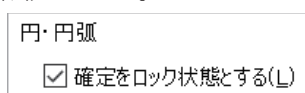
表示されるイメージの解像度は、登録されている画像情報に依存しますので、イメージをきれいに表示したい場合は、図面保存前に下記の設定をして下さい。

- ①「設定」－「属性」を実行し、「その他」タブを選択します。



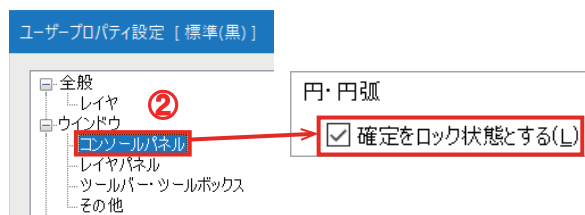
■コンソールパネル(確定⇒ロック)

コンソールパネルの確定をロック状態とする設定を搭載しました。



(設定方法)

- ①「設定」－「ユーザープロパティ設定」を実行します。
- ②「ウインドウ」の「コンソールパネル」を選択します。
- ③「確定をロック状態とする」にチェックを入れます。
- ④「OK」をクリックします。

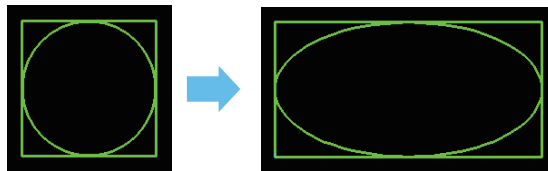


下記のコマンドを実行し、径を入力後、「確定(Enter)」をクリックすると、径がロック状態となり、連続で同じ径の円/円弧を作図できます。

- ・「作図」－「円」－「中心点」/「3要素」/「角度円」
- ・「作図」－「円弧」－「中心点」/「3要素」

■「編集」－「複写」/「移動」－「拡大縮小」コマンド

「複写」/「移動」－「拡大縮小」コマンドでX方向とY方向に異なる倍率が入力された場合、円・円弧を楕円・楕円弧に変形するモードを搭載しました。



(操作方法)

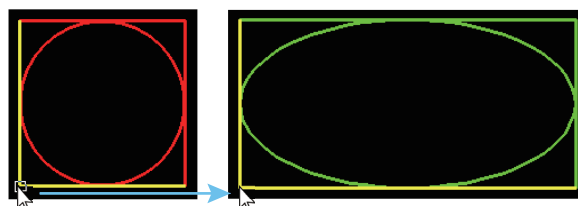
- ①「設定」－「ユーザープロパティ設定」を実行します。
- ②「編集」－「移動・複写」をクリックします。
- ③「円・円弧を楕円・楕円弧に変形する」にチェックを入れます。



- ④「OK」をクリックします。
- ⑤「編集」－「複写」－「拡大縮小」を実行します。
- ⑥複写する要素を選択します。
- ⑦倍率を入力します。



- ⑧基準点、配置点を指定します。

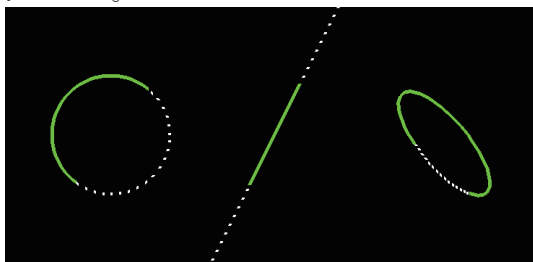


注意！

楕円・楕円弧を円・円弧に変形することはできません。

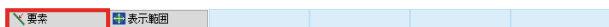
■「作図」－「線」－「補助線」コマンド

要素の欠損部分を補う補助線を作図するモードを搭載しました。



(操作方法)

- ①「作図」－「線」－「補助線」を実行します。
- ②コマンドモード1を「要素」に切り替えます。

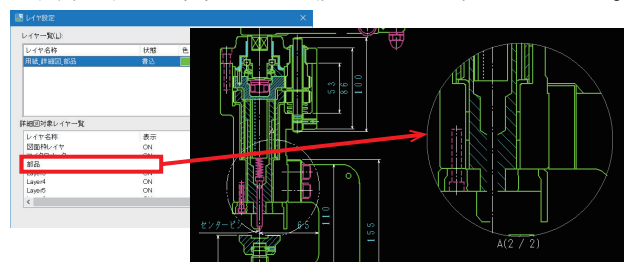


- ③要素を選択します。



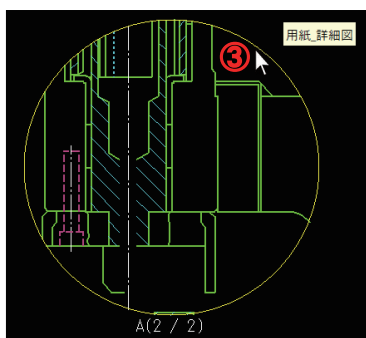
■「投影図」－「連動詳細図」/ 「連動詳細図編集」コマンド

連動詳細図の対象レイヤが設定できるようになりました。

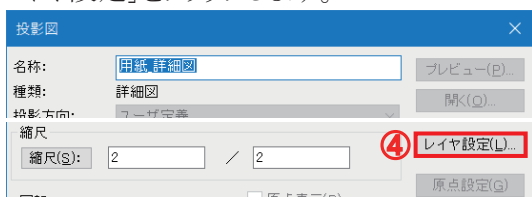


(操作方法)

- ①連動詳細図を作図します。
- ②「投影図」－「プロパティ」を実行します。
- ③詳細図側の外枠を選択します。



- ④「レイヤ設定」をクリックします。



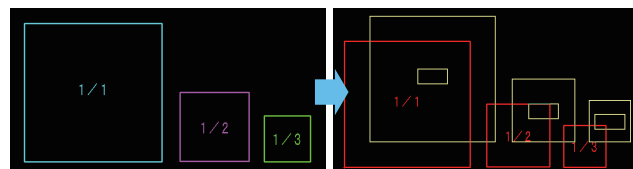
- ⑤「詳細図対象レイヤー一覧」から、非表示にするレイヤの「ON」部分をクリックします。



- ⑥「閉じる」をクリックします。
- ⑦「適用」をクリックします。
- ⑧「閉じる」をクリックします。

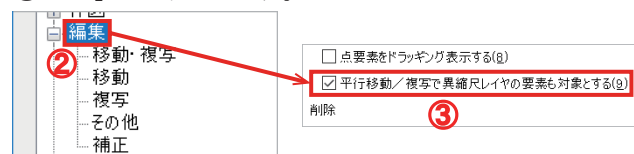
■「編集」－「複写」/「移動」－「平行」コマンド

平行移動・複写で異縮尺の要素を認識する設定を搭載しました。



(設定方法)

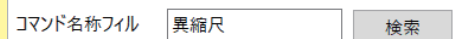
- ①「設定」－「ユーザープロパティ設定」を実行します。
- ②「編集」をクリックします。
- ③「平行移動/複写で異縮尺レイヤの要素も対象とする」にチェックを入れます。
- ④「OK」をクリックします。



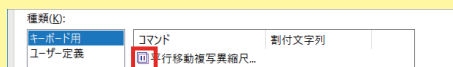
コマンド定義より、「平行移動複写異縮尺認識切替」アイコンを割り付けることもできます。

(操作方法)

- ①「設定」－「コマンド定義」を実行します。
- ②コマンド名称フィルタに「異縮尺」と記入します。

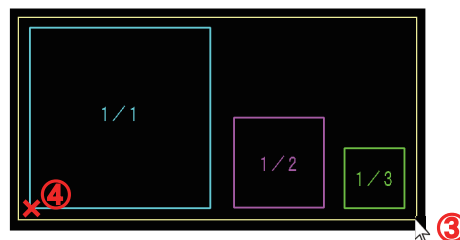


- ③「平行移動複写異縮尺認識切替」アイコンをドラック&ドロップでツールバー等に移動します。



(操作方法)

- ①「編集」－「複写」－「平行」を実行します。
- ②要素を貼り付けるレイヤに切り替えます。
- ③複写する要素を選択します。
- ④基準点・配置点をクリックします。

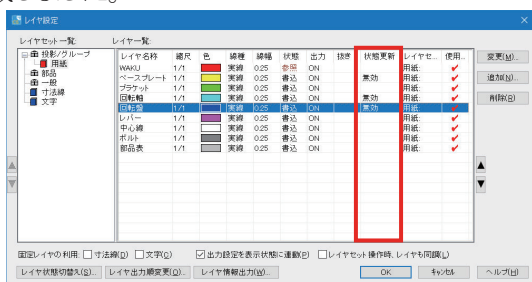


注意点！

図形の大きさは貼り付けるレイヤの縮尺が反映されます。

■「設定」－「レイヤ状態設定」コマンド

「カレントレイヤ以外休眠」などレイヤ状態を変更する動作で、レイヤ状態の一括変更を無効とする設定を搭載しました。



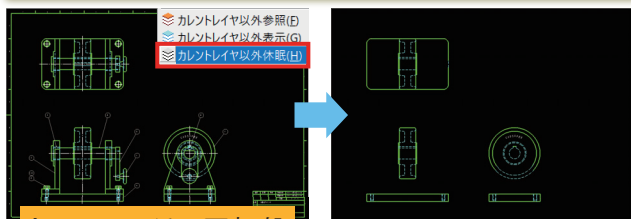
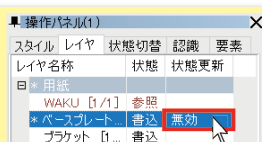
(操作方法)

- ①「設定」－「レイヤ状態設定」を実行します。
- ②レイヤ状態の一括変更を無効とするレイヤの「状態更新」を欄をダブルクリックします。

レイヤ:ベースプレート

レイヤ名	色	線幅	線種	状態	状態更新	レイヤ
参照	ON					用紙
書込	ON				無効	用紙
書込	ON					用紙
書込	ON					用紙
書込	ON					用紙

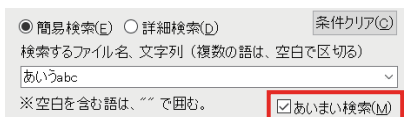
操作パネル1からでもレイヤ状態の一括変更を無効とする設定が可能です。



カレントレイヤ:回転盤

■「ファイル」－「検索」コマンド

ファイル名検索で全角文字と半角文字の違い、大文字と小文字の違いなど、検索時に正確に検索しなければ対象外となっていたものも検索対象とするようにしました。



ポイント！

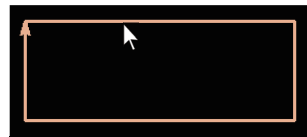
必ず「あいまい検索」にチェックを入れて検索を行ってください。

☒ あいまい検索(M)

■自動サークループ

サークループで要素を指定した時点で検索を開始する設定を搭載しました。

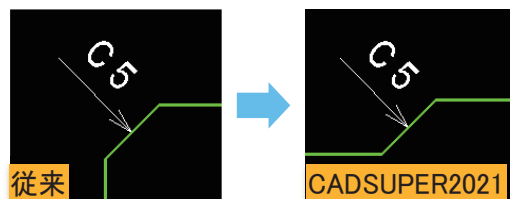
周要素自動検索ON/OFF



アイコンからのみON/OFFの切替えができます。「周要素自動検索ON/OFF」コマンドを割り付けてご利用下さい。

■「寸法」－「面取り」コマンド

平行線に対して45°で面取りされた形状(段差のある円筒のつなぎ目のような形状)に対しても、「C面取り」として作図できるように対応しました。



■CADSUPER2021の対応OS

CADSUPER2021の動作対象OSは、Windows8.1・Windows10の64bit版のみとなります。

注意点！

Windows7はCADSUPER2020までとなりますので、ご注意ください。

		CADSUPER 2020	CADSUPER 2021
Windows10	32bit	×	×
	64bit	○	○
Windows8.1	32bit	×	×
	64bit	○	○
Windows7 SP1～	32bit	×	×
	64bit	○	×

Windows10の古いバージョンについても、サービスが終了しているものは、サポート対象外相当となります。

Windows10 Build Version	サービスの終了	
	Home/Pro	Enterprise
1803	2019年11月12日	2020年11月10日
1809	2020年05月12日	2021年05月11日
1903	2020年12月08日	2021年12月08日
1909	2021年05月11日	2022年5月10日
2004	2021年12月14日	2021年12月14日
20H2	2022年5月XX日	2023年5月XX日

＜Windows10の種類とBuild Versionの確認方法＞

- ①「スタートメニュー」－「設定」を実行します。
 - ②「システム」をクリックします。
 - ③「バージョン情報」をクリックします。
- 「Windowsの仕様」の「エディション」で種類を、「バージョン」で現在のBuild Versionをご確認いただけます。

AICネットワーク ユーザー登録内容の変更 連絡

この情報誌は、弊社ユーザー登録情報に基づいて配信しております。
ユーザー登録内容の変更をご希望の場合は、下記の内容をご記入の上、メールまたはFAXを送信くださいますようお願い申し上げます。

■AIC ネットワーク ユーザー登録内容の変更

Mailアドレス	@
会社名	
部署名	
ご担当者名	

メールアドレスは、インターネット使用環境のものをご使用ください。
アドレスご記入の際は、アルファベットの「O」と数字の「0」、アンダーバー「_」とハイフン「-」の違いが分かるように、ご協力お願いいたします。

メールでご連絡いただく場合は、aicnetwork@andor.co.jp へ送信ください。

From Editor

色とりどりにさまざまな花が咲き競う、美しい季節を迎えましたが、お元気で過ごしてでしょうか。

昨年は新型コロナウイルスの影響で、どこにも出掛けることができず、自宅で過ごす時間が増え、映画やアニメを見る方が多かったのではないのでしょうか。その中でも人気だったのは、やはり『鬼滅の刃』です。映画の興行収入は『千と千尋の神隠し』を抜く、324億円で、国内で上映された映画の歴代1位となりました。確かに映画館で上映してるほとんどが『鬼滅の刃』だった気がします。

『鬼滅の刃』は鬼になってしまった妹の禰豆子(ねずこ)を救うため、兄の炭治郎が鬼狩りとなり、仲間と共に鬼と戦う物語です。家族愛や兄妹愛などが盛り込まれているため子供

から大人まで、年齢や性別を超えて支持が集まっているようです。お年寄りの方も知っている方が多く、お孫さんと一緒に楽しんでいるようです。私の祖母も『鬼滅の刃』を知っていたのには驚きました。

漫画は去年最終巻が発売されましたが、人気はまだまだ続きそうですね。ちなみに、『鬼滅の刃』の次にくる漫画として注目されているのは『呪術廻戦』だそうです。呪霊という人間に害を及ぼす存在を、呪術師という職業の方たちが退治する物語です。お家時間が増えたこの機会にアニメを見たり、漫画を読んだりして過ごすのもいいかもしれませんね。

一日も早い新型コロナウイルス感染症の終息と、皆様のご健康をお祈り申し上げます。

アンドール株式会社®
AIC Network編集部

〒650-0021
兵庫県神戸市中央区三宮町2-5-1
三宮ハートビル
tel.(078)325-8181 Fax.(078)392-9811